

事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人東松山障害者就労支援センター

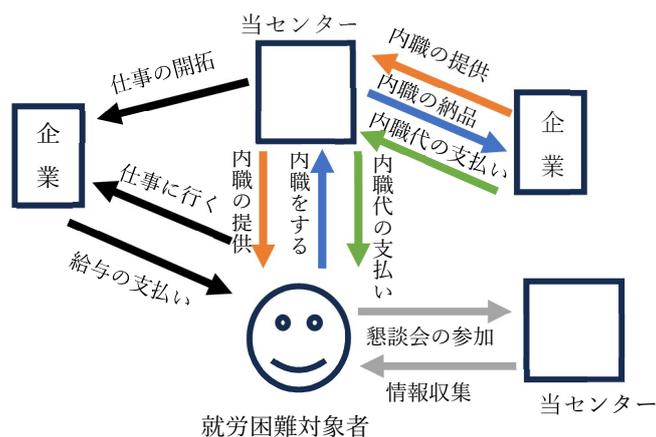
事業名 就労困難者の就労支援

1 事業の目的

私たちの団体は、就労支援を通じて誰一人取り残さない社会の創造の実現を理念に活動しています。しかし、「働きたい」と相談に来られても、体調が安定しない、長い時間は働けない、仕事に行く交通費がないなどの理由で在宅生活になってしまう就労困難者が多くいます。そのような方たちにも、仕事をする機会を提供しそれに見合った賃金をお支払いできるようにこの事業を行いました。

2 事業内容

(1) 事業の概要



働きたいが在宅生活になっている就労困難対象者に対し、内職の提供を行いました。

内職は自宅ではなく当センターの事務所に来ていただきました。

行った内職はその日のうちに対象者と一緒に企業に納品しました。

行った作業数に応じた金額と納品を行った謝礼を当日に支払いました。

延べ8名、10代～50代の方が参加しました。



企業に行って行う仕事については、見学までは行ったものの対象者が辞退し、実際にその企業で働くことはできませんでした。

(2) 事業の流れ

- R5年6月 受け入れ企業の開拓営業開始（常時）
- R5年8月4日 当法人で行っている企業情報交換会（5社）に参加し事業の説明をし協力依頼を行う
⇒しかし2月までで受け入れ企業は1社のみ。
理由は「仕事に来れるかどうかわからない人への仕事の提供、確保が難しい」
- R5年10月16日 対象者が受け入れ企業の見学
⇒しかしその後本人がここで働くことを辞退。見学での情報量が多く圧倒されてしまった。
- R5年11月～ 対象者へヒアリング調査を行う（33名）
⇒受け入れ企業の難航しているため、対象者の仕事についての希望を改めて確認
- R6年2月14、15、16日 内職作業の実施（3日間）
⇒延べ8名参加。432セット作業を行った。
- R6年3月14日 仕事のことを語る懇談会を実施予定
⇒5名参加予定

(3) 連携・協力機関・

株式会社武蔵野フーズ	・短い時間での勤務の受け入れ快諾 ・対象者の見学受け入れ対応
合同会社フー・インターナショナル	・単発での内職作業の提供

3 成果及び今後の展開

- ・就労困難者が働きやすい「いつ勤務しても構わない」という仕事を提供してくれる企業の開拓は難しかった。
仕事を提供する側は、やはりこの日、この時間、この仕事をお願いしたいというのが明確なため、出勤するかどうかわからない人に仕事を確保しておくことはできない。
- ・それでも受け入れを快諾してくれた企業は、曜日や時間を決める必要はあったが、仕事内容は清掃のため、もし欠勤となっても他の従業員でカバーしやすいようであった。
- ・2月に行った内職作業は、来慣れている当センターの事務所で行う、作業自体が比較的簡単、一人で完結できる作業というものだったため、参加がしやすいようであった。

- 賃金も当日に支払いをしたため、参加する意欲に繋がった。
- 今回助成金を活用させていただいたため、納品を参加者にお願いし、その納品の謝礼として作業代とは別に支払うことができた。参加者の意欲とスタッフの負担軽減に有効であった。
- 内職作業は今後も定期的に行い、望んでいない在宅生活を長引かせないため家から出るきっかけ作りとして行っていきたい。
- 内職作業は気軽に行なえる仕事の一つであるが、その一方で得る賃金は時給換算したときに最低賃金とは比べものにならない。
短い時間でも企業で働き、見合った賃金を得られるよう開拓は引き続き行っていきたい。
- 企業に出向くだけでなくオンラインで行える仕事の開拓、またオンラインで仕事ができるよう対象者のスキルアップも行っていく。